

テーマ

防災を学んで地域力UP！

事業実施地区（中学校区名）	安来市立第三中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	飯梨交流センター、赤江交流センター 荒島交流センター

テーマの背景

安来第三中学校では5年前から、ふるさと教育として「防災学習」に取り組んでおり、そこで得た知識を地域防災に役立てることを模索していた。

今回、3交流センターが連携をして、三中が取り組んでいる「防災学習」について地域で実践発表をする場をつくり、中学生と地域住民が共に学び合うことにより、住民同士のコミュニケーションの促進、地域間の連携を密にし、地域力アップにつなげることに取り組んだ。

実際の取組

②学校の学びをさらに深める場の設定

事業名：三中生徒の出前講座：HUGを体験しよう

<取組の概要>

目的：三中が「ふるさと教育」で取り組んでいる「地域防災」について、地域住民と一緒に学ぶことにより、地域防災の大切さを学ぶ。

対象：地域住民

期日及び会場：7/29（土）/飯梨小体育館、8/18（金）/赤江交流センター、8/21（月）/荒島交流センター

内容：夏休みを利用して、安来三中生徒が先生役、地元住民が生徒役となって地域防災学習：HUG（避難所訓練ゲーム）を実施。

※HUG・・・プレーヤー（参加者）はカードに書かれている情報をもとに、到着した非難者をいかに適切に避難所に受け入れるかを模擬体験するゲーム。

<成果と課題>

○安来三中は学校から地域に出かけ、子どもの視点ではなく一人の社会人として地域にどれだけ貢献できるか考える機会となった。一方地域では出前講座を通して住民同士の連携を如何に密にできるかという課題に取り組むことができた。

○この防災学習を体験したことを生かして、それぞれの地域が一層の防災意識を高めることと、まだ自主防災組織が立ち上がっていない地域での自主防災組織の早期立ち上げが今後の課題。

### ⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：ボランティアのつどい

#### <取組の概要>

目的：学校教育等へのボランティアを通して、地域全体で子どもたちの育ちを支えていくために、何ができるのかを考えていく。

対象：学校支援ボランティア、地域活動のボランティア、子どもの育ちや教育に関心がある方、学校関係者

期日及び場所：2/10（土）／荒島交流センター

内容：地域と学校の連携の重要性を講演で学習した後、3地区に分かれて「今の子どもたちの印象」「どんな子どもに育ってほしいか」「子どもへの関わりで大事なことは」をテーマにグループ討議。

#### <成果と課題>

- 講演、グループ討議を実施したことでボランティア活動についての考えを共有できた。
- 地域の子供たちを対象にしたボランティア活動について「今の子どもたちの特徴」「目指す子ども像」等テーマを絞ったグループ討議を行ったことで、地域と学校がより良好な関係を築き、ふるさとの将来を担ってくれる子供たちの健全育成に一層の努力が必要だと感じた。

### まとめ

#### テーマに迫るためのポイント

- 定期的に中学校と交流センターで連絡会を開催し、ねらいや内容について共通理解のもと進めた。
- 中学校での学びを地域で発表してもらう際には、学校も地域も、お互いが無理のない範囲で取り組むように配慮した。

#### 今後の展望

- 今回の三中生徒の出前講座により、地域防災への意識が高まっているので、防災組織の立ち上げやより一層の充実強化に向けて、子どもたちを巻き込みながら進めていきたい。
- 防災について、地域で話し合うなかで、希薄になっている住民同士の助け合いの精神の大切さを再認識する事業を展開していきたい。